

## 「世界らん展日本大賞2009」に参加して

(都立園芸高等学校 定時制課程 園芸科)

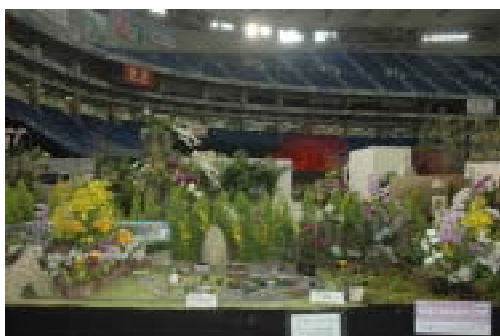
開催日時 平成21年2月14日(土)~22日(日)

開催会場 東京ドーム

昨年に続き「世界らん展2009」に参加しました。このらん展は、世界20か国からの出展があり、来場者も約40万人となる大きな大会です。今年は3学年「草花」の授業の一環としてディスプレイ部門(洋らん、東洋らん、日本のらんなど、あらゆるらんを主体とした飾り付け・展示作品)のオープンクラス(愛好家以外の団体)に洋らんを主体とした展示作品を出展しました。らん展に参加することにより、世界のらん栽培技術に触れ、らん栽培に関する視野を広め、さらに生徒の創作意欲を高めようとするのが目的でした。

今年の作品の製作意図は、展示スペース全体の中でらんの豪華さをいかに創り出すかということでした。夏休みの課題として、展示用の図案を作成させ、2学期最初の授業で発表会を行い、最終図案を決定しました。作業は1月から集中的に取り組み、花の装飾・管理を園芸技術専修生と3年生が、展示のレイアウトと鉄道模型制作を鉄道研究同好会が担当しました。らんの花は種類によって一か月以上長持ちしますが、開催期間中に合わせて花を咲かせるため、温室の温度管理には特に注意を払いました。また、展示期間中は、らんの灌水等の管理に教職員があたり、らんの新鮮さを保つことに配慮しました。

今年度も生徒同士が互いに協力し合うことで展示を完成させることができました。自分達で育てたらんや展示物を沢山の人に見てもらえるこの世界らん展は、生徒の主体性を育てる良い機会になっていると思います。



都立園芸高等学校定時制作品 正面から



都立園芸高等学校定時制作品 右上から



世界らん展日本大賞2009 全体写真